

国土地理院入札監視委員会 第1回定例会議議事概要

開催日及び場所	令和元年7月11日(木) 国土地理院関東地方測量部会議室		
委員名簿	委員長 <small>かわい りゅうた</small> 川合 竜太 (弁護士) 委員長代理 <small>ささき なおひこ</small> 佐々木 直彦 (公認会計士) 委員 <small>おぐち たかし</small> 小口 高 (東京大学 空間情報科学研究センター 教授) 委員 <small>あらや あきと</small> 新谷 昌人 (東京大学 地震研究所 附属観測開発基盤センター 教授)		
審議対象期間	平成30年10月1日～平成31年3月31日		
抽出事案	6件	(備考)	
測量業務	3件	審議案件は別紙1のとおり	
内訳	簡易公募型 競争入札方式 (総合評価落札方式)		1件
	簡易公募型 競争入札方式		2件
物品・役務	3件		
内訳	一般競争入札方式		3件
委員からの主な意見・ 質問、それらに対する 回答等	意見・質問	回 答	
	別紙2のとおり	別紙2のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし		

審議案件詳細

【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
①	簡易公募型競争入札方式	地盤沈下関連水準測量及び河川事業に伴う水準測量(名古屋・一宮地区)	基準点測量	4	4	平成30年12月21日	株式会社新和測量設計事務所	3,542	70.2%	
②	簡易公募型競争入札方式	UAVレーザ測量の新技术機器に関する検証・検討業務	写真測量	2	2	平成31年1月23日	公益財団法人日本測量調査技術協会	19,872	97.2%	
③	簡易公募型競争入札方式 (総合評価落札方式)	電子国土基本図(基盤地図情報)面的更新業務(H30中部四国地区)	地図調製	9	9	平成30年11月13日	株式会社タナカコンサルタント	25,542	90.4%	

【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名	業務種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
④	一般競争入札方式	地形分類図の凡例整理・検討業務	役務の提供等	4	3	平成30年10月4日	アジア航測株式会社	10,552	89.1%	
⑤	一般競争入札方式	干渉SAR高次処理ソフトウェアの改造	役務の提供等	1	1	平成30年10月15日	三菱スペース・ソフトウェア株式会社	13,608	99.9%	
⑥	一般競争入札方式	修繕(「地図と測量の科学館」照明改修)	役務の提供等	5	5	平成31年1月15日	大堀電気工事株式会社	3,780	66.1%	

意見・質問	回答
<p>1. 定例報告</p> <p>(1) 入札方式別発注案件一覧表 (測量業務、役務の提供等及び物品の製造等)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(3) 談合情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	
<p>2. 抽出事案の審議</p> <p><測量業務></p> <p>簡易公募型競争入札方式</p> <p>① 地盤沈下関連水準測量及び河川事業に伴う水準測量（名古屋・一宮地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元ではなく、他の地域の業務に参入するケースは多いのか。 7月と9月の入札が不調となった理由は何か。 分割して発注しているが、価格に影響があるのではないか。 <p>簡易公募型競争入札方式</p> <p>② UAVレーザ測量の新技术機器に関する検証・検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考見積りを提出した3者のうち、一番低い価格の者が入札に参加しなかった理由は何か。 <p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>③ 電子国土基本図（基盤地図情報）面的更新業務（H30 中部四国地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合評価落札方式について問題点はないか、価格点と技術点がよいバランスになっているかなどの検証は行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域要件を設けて、地元の業者が有利になるように発注する場合もあるが、どの入札に参加するかは業者の自由である。その時々で、社員の状況等を勘案して入札に参加するものと推察する。 他でも水準測量の発注を行う時期であり、また、北海道胆振東部地震に伴う緊急水準測量の発注もあったため、技術者の確保が難しかったと推察する。 分割すれば全体のコストは上がるが、競争性が高まるので、そのバランスが重要だと考えられる。 参加しなかった者の参考見積り額はかなり低かった。初めての発注案件であり、金額を見積る際に安く見積ってしまったために、入札に参加しなかったと推察する。 総合評価落札方式については、技術提案書（実施方針）の評価が正しいか、技術者の評価が正しいかなどを確認するため、外部委員による総

	<p>合評価委員会を開催し、検討及び審議を行っている。</p>
<p><物 品・役 務></p> <p>一般競争入札方式</p> <p>④ 地形分類図の凡例整理・検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札調書の不参加とは何か。 <p>⑤ 干涉SAR高次処理ソフトウェアの改造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の有無を確認する公募手続きとなった場合には、見積額の精査が必要と考えるかどうか。 <p>⑥ 修繕（「地図と測量の科学館」照明改修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力料金を削減できるということだが、機器は費用対効果で節約となる耐用年数があるか。 ・仕様書では機器が相当品となっているが、品物の選び方で、性能が変わってくることはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札の参加表明があり、要件を満たしていたが、入札には参加しなかったものである。 ・内容については、今後も精査していく。 ・照明器具をLEDに交換するため、耐用年数は、費用対効果の要件を満たしている。 ・相当品の場合は、参加表明時に相当品審査申請を提出して、性能等を審査したうえで、入札に参加する手続きとしている。
<p>3. その他の審議</p> <p>○ 契約変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不調になった2件を、4つに分けて設計変更とした考え方は何か。 <p>○ 一者応札契約の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般競争から参加者の有無を確認する公募手続きに移行する際のメリットは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度中に成果を提出しなければならなかったため、不調になった作業部分のうち、直営で作業を行う部分と平成30年度に行わなくてもよい部分を除き、4つに分けて平成30年度必要な部分のみを設計変更とした。 ・事務手続きを効率的に行うことが出来るため、発注者、受注者双方にメリットがあると考えている。